

# 平成30年度 学校評価計画

小美玉市立下吉影小学校 校長 萩野谷 邦夫

## 1 学校教育目標

郷土に誇りをもち、確かな学力を身に付け、心豊かで、心身ともにたくましい児童を育成する。  
【教育スローガン】「知・徳・体 バランスのとれた教育活動の実践」～今日が楽しく明日も楽しみな学校づくり～

## 2 目指す学校像、児童・生徒像、教師像

学校像	<input type="checkbox"/> 誰もが安心して安全に過ごせる学校 <input type="checkbox"/> 一人一人の人権が尊重され 心を豊かに育む学校 <input type="checkbox"/> 主体的・対話的な授業が展開される学校
児童・生徒像	<input type="checkbox"/> よく学ぶ子 <input type="checkbox"/> 思いやりのある子 <input type="checkbox"/> 健康で明るい子 <input type="checkbox"/> 自主性・自立性のある子
教師像	<input type="checkbox"/> 子どもを思いやる人間性豊かな教師 <input type="checkbox"/> 使命感に燃え自己研鑽に励む教師 <input type="checkbox"/> 判断力があり変革に対応できる教師

## 3 学校の現状

- 本校は、普通学級5，特別支援学級(知)1，全校児童65名の小規模校であり自然豊かな環境にある。校舎が現在地に設置され15年目を迎え、5年後は統合する予定である。
- 「児童」については、素直で優しい気持ちをもった子が多い。また、4年生以上の児童たちは、3つの実行委員会（稲作、ミュージカル、運動会）に所属しており、責任をもって自分の役割を果たすことができる。
- 「教師」については、人事異動により半数近く替ったが、若手もベテランも学び合う雰囲気がある。分かる授業を実践するとともに、子ども一人一人と向き合い、熱心に教育活動に取り組んでいる。
- 「保護者・地域」については、協力的で、学校行事やボランティア活動等に積極的に参加する方が多い。

## 4 前年度の成果と課題

- 「分かる授業」の実践では、一斉授業の教え込む授業からの脱却を図り、子どもが主体的・対話的に学び合う授業を確立することができた。また、課題となっていた「書く力」を育成するため、「100マス作文」や授業における「書く活動」の導入、校長・教頭・教務による国語の添削指導等により、学力診断のためのテストでは、すべての学年において県平均を上回った。
- ミュージカルや合唱を通して、自分に自信をもって表現できる児童が多く育った。また、稲作や自然体験、ボランティア活動、縦割り班活動などの体験活動やふれあいを通して豊かな心が育った。
- 体力アップ月間や補強運動・国体ダンスの導入等により、体力が向上した。○下吉祭など、学校行事では、保護者・地域の方と協力体制を構築しながら、学校と保護者・地域が一体となった運営をするともに開かれた学校づくりを実践することができた。
- ゲームやインターネットをやる時間が多く、家庭学習の習慣が確立されていない。

## 5 組織目標

番号	内 容	実施期間				
		30	31	32	33	34
1	授業を通して表現力の素地づくりに努めるとともに、考えを深める場・伝え合うための手立てを工夫する。	○	○	○	○	○
2	自己肯定感や自己存在感が高まる活動を実践する。	○	○	○	○	○
3	自己管理能力を高める。	○	○	○	○	○